コートジボワール国月報（２０１６年２月）

|  |
| --- |
| 主な出来事  【内政】  ●７日、東部アディアケ及び北部テングレラの駐留基地で、特殊部隊兵士が威嚇射撃や出入口を閉鎖する事案が発生した。  ●２３日、セネガル警察報道官によると、昨年３月のグラン・バッサム襲撃事件のマリ人容疑者２名がダカールで逮捕された。  【外政】  ●１６日、ウワタラ大統領はバリー・ブルキナファソ外相とアビジャンで会談した。  ●２３日、ウワタラ大統領は、ボチュウェイ・ガーナ外相率いるガーナ代表団と会談した。  【経済】  ●１４日、アフリカ開発銀行との間で、ベリエ地域の農産物加工業活性化計画への贈与及び融資が合意された。７１０億ＣＦＡフラン（約１４２億円）でバリューチェーン開発を支援する。  ●１６日、コートジボワール食料生産協同組合連合会（Fenascovi-ci)がイタリアのAfrica Buildingグループから２，９５０億ＣＦＡフラン（約５９０億円）の資金提供を受けることが発表された。  ●２２日、閣議にて、昨年１２月２９日にコートジボワールとＡｆＤＢとの間で締結されたヨプゴン～プラトーを結ぶ第４の橋の１，５５８億ＣＦＡフラン（約３１２億円）の融資合意が承認された。  【対日関係】  ●２３日、「ブアケ大学病院義肢装具製造センター改修計画」、「アヤボ・アボクロ公立小学校整備計画」及び「クワメフラ保健センター改修及び産科病棟建設計画」（総額約２，４２０万円）の贈与契約署名式が行われた。  ●１３－２４日、アビジャンにてＪＩＣＡによる「第４回仏語圏アフリカ刑事司法研修」が開催された。仏語圏アフリカ８カ国の刑事司法関係者を対象としたもの。 |

【内政】

・７日、東部アディアケ及び北部テングレラの駐留基地で、特殊部隊兵士が威嚇射撃や出入口を閉鎖する事案が発生した。先に騒動を起こして総額１２００万ＣＦＡフラン（約２４０万円）の支払いが約束された国軍兵士と同様の手当、上官から搾取されたとされる手当の支払いを求めたもの。（フラテルニテ・マタン紙）

・８日、特殊部隊兵士は同部隊幹部との話し合いを経て威嚇射撃等を停止し、国家に対し謝罪の意を表明した。（フラテルニテ・マタン紙）

・１２日、特殊部隊による威嚇射撃等に関して誤った情報を報道し、国家の安全を侵害したとして、６名の記者が逮捕・取り調べを受けた。１４日、これら６名は釈放された。（ランテール紙）

・２３日、セネガル警察報道官によると、昨年３月のグラン・バッサム襲撃事件のマリ人容疑者２名がダカールで逮捕された。容疑者の一人ウルド・シディ・モハメド・シナは、襲撃の計画立案者とみられる人物とコンタクトがあった。（アビジャン発AFP電）

【外政】

・６日、コートジボワール＝ガーナ間の海洋境界画定に関する一連の口頭審理がハンブルグで開始された。（ル・パトリオット紙）

・１６日、ウワタラ大統領はバリー・ブルキナファソ外相とアビジャンで会談した。国軍兵士による騒動等に関するブルキナファソからコートジボワールへの支援のメッセージを伝えると共に、ウワタラ大統領へのワガドゥグ・パンアフリカ映画祭（FESPACO）への招待状を手交した。コートジボワールは今次FESPACOの名誉招待国。（フラテルニテ・マタン紙）

・１８日、ウワタラ大統領は、バンジュールでバロウ・ガンビア新大統領の就任式に出席した。（フラテルニテ・マタン紙）

・２３日、ウワタラ大統領は、ボチュウェイ・ガーナ外相率いるガーナ代表団と会談した。ガーナ代表団は、アド・ガーナ大統領就任式に名誉招待客としてウワタラが出席したことへのアド大統領からの謝意を伝えた。（フラテルニテ・マタン紙）

【経済】

・２日、世銀は２０１６年コートジボワール経済レポートを公表した。経済成長率は７．９％と堅調である一方、平均８．５％であった２０１２－１５年からの低下は、年初の悪天候の農業への影響、民間部門の融資の減少などが原因だとしている。また、グラン・バッサムでのテロを受けて軍事費が上昇したことによる４％の財政赤字、教育の低い成果などを指摘している。（フラテルニテ・マタン紙）

・７日、国家市民保護局（ＯＮＰＣ）と仏専門家との間で、ＥＵによる国民保護のための財政支援の覚書が結ばれた。ＯＮＰＣの運営能力強化のため６５億ＣＦＡフラン（約１３億円）が供与される。（フラテルニテ・マタン紙、ル・パトリオット紙）

・９日、中国大使はダンカン副大統領を表敬し、スブレ（南西部）ダムの第一発電ユニットが２０１７年に発電開始することを報告した。２７５メガワットの発電力を有するこのダムは、コートジボワールの負担に加え、中国輸出入銀行からの２，３９０億ＣＦＡフラン（約４７８億円）の融資を受けている。（フラテルニテ・マタン紙）

・１４日、アフリカ開発銀行（ＡｆＤＢ）との間で、ベリエ地域の農産物加工業活性化計画への贈与及び融資が合意された。７１０億ＣＦＡフラン（約１４２億円）でバリューチェーン開発を支援する。（フラテルニテ・マタン紙、ル・パトリオット紙）

・１４日、輸出産品に関する省庁間委員会が開催され、停滞しているカカオ輸出状況に改善が見られることを確認した。積荷量は１月９日以降週平均１４％増加しており、輸出量は１月末に比べて２月末には３３％増加している。（フラテルニテ・マタン紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙）

・１５日、閣議にて２０１６年のカシューナッツ取引量が６４９，５８７トンであったと報告された。前年比７．５％減。キロあたり買取価格は、２０１６年３５０ＣＦＡフラン（約５５円）に対して２０１７年は４４０ＣＦＡフラン（約８８円）と決定された。（フラテルニテ・マタン紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙）

・１６日、１５日から当地を訪問しているZheng Zhijie中国国家開発銀行総裁はゴン＝クリバリ首相及びコネ経済・財務大臣を表敬した。Zheng総裁はコートジボワールのエネルギー、道路インフラ、農業等の分野への同行の投資の意欲を表明した。（フラテルニテ・マタン紙）

・同１６日、コートジボワール食料生産協同組合連合会（Fenascovi-ci)がイタリアのAfrica Buildingグループから２，９５０億ＣＦＡフラン（約５９０億円）の資金提供を受けることが発表された。（ランテール紙、ル・パトリオット紙）

・２０日、コネ経済・財務大臣とラポルト世銀当地所長は、都市飲料水供給強化計画への２５０億ＣＦＡフラン（約５０億円）の融資協定に署名した。（フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙、ル・パトリオット紙）

・２２日、閣議で、昨年１２月２９日にコートジボワールとＡｆＤＢとの間で締結されたヨプゴン～プラトーを結ぶ第４の橋の１，５５８億ＣＦＡフラン（約３１２億円）の融資合意が承認された。（フラテルニテ・マタン紙）

・２２日、クリバリ農業・農村開発大臣はカカオ市場停滞への対応策として、コーヒー・カカオ委員会（ＣＣＣ）の販売システムへの監査等のために首相を議長とする省庁間委員会を設置する等の措置を発表した。（フラテルニテ・マタン紙）

・２２日、世銀アフリカ担当副総裁はゴン・クリバリ首相を表敬し、貧困世帯向けの１億ドルの追加支援を伝えた。２０１７－２０年に北・西・中部の３．５万世帯を支援する計画等が含まれる。（フラテルニテ・マタン紙）

【対日関係】

・２３日、川村大使は、「ブアケ大学病院義肢装具製造センター改修計画」（約７６５万円）、「アヤボ・アボクロ公立小学校整備計画」（約６９０万円）及び「クワメフラ保健センター改修及び産科病棟建設計画」（約９６０万円）の贈与契約に署名した。（フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙）

・１３－２４日、アビジャンにてＪＩＣＡによる「第４回仏語圏アフリカ刑事司法研修」が開催された。仏語圏アフリカ８カ国の刑事司法関係者を対象としたもの。（ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙、フラテルニテ・マタン紙）